※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	新高等保健体育　　大修館書店						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保健では授業や班学習、発表、実習などを通して自らの健康や健康を支える環境づくりなどを学んでいきます。運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者へ伝える能力を養っていきましょう。また、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたる健康の保持増進のための実践力の育成や体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てましょう。

２　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を次の通り育成する。
(1)個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	(知)現代社会の健康や安全な社会生活について、課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基本的な事項を理解し、言ったり書いたりしている。 (技)適切な応急手当について理解しており、心肺蘇生法や止血の仕方など応急手当の正しい手順や方法を適切に行える。	現代社会の健康や安全な社会生活について、健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全についての課題解決をめざして、知識を活用した学習活動などをもとに自己や仲間と協力して考え、総合的にとらえ、判断し、それらを表している。	現代社会の健康や安全な社会生活について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について粘り強く考え、主体的に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康	第１章 １　日本における健康課題の変遷	a:個人や集団の健康についての考え方が変化してきていることについて、理解していること、主体要因と環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 b:健康の考え方について自他や社会の課題を発見し、国民の健康課題について分析し課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理していること、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート
		２　健康の考え方と成り立ち	a:国民の健康課題、健康水準及び疾病構造の変化には、科学技術の発達及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 b:健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート
		３　ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ４　健康に関する意思決定・行動選択	a:　健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であること、適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していること、健康を保持増進するための環境には，自然環境，及び政策や制度，地域活動などの様々な社会環境があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b:健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。″ C:健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		５　現代における感染 ６　感染症の予防 ７　性感染症・エイズとその予防 症の問題	a:感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには，社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。″ b: 現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。現代の感染症とその予防について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。″ C:現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	 振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

２学期	現代社会と健康現代社会と健康現代社会と健康	８ 生活習慣病の予防と回復 ９ 身体活動・運動と健康 10 食事と健康 11 休養・睡眠と健康 12 がんの予防と回復	a.がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であること がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること 生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること 上記について，理解したことを言ったり書いたりしている。 b.生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c.生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		13 喫煙と健康 14 飲酒と健康 15 薬物乱用と健康	a.喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であること コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないこと 薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であること 上記について，理解したことを言ったり書いたりしている。 b.喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、 健康にかかわる減速や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c.喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	 振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		16 精神疾患の特徴 17 精神疾患への対応	a.うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害などは，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であること 精神疾患の予防と回復には，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応についてはストレスを緩和することなどが重要であること 心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まること 人々が精神疾患について正しく理解するとともに，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること，偏見や差別の対象ではないこと 上記について，理解したことを言ったり書いたりしている。 b.精神疾患の予防と回復について 健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している c.精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート
		第2章 5 心肺蘇生法	a: 心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解したことを言ったり書いたりし，AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 ｂ：心肺蘇生法について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，生命の保持や悪化防止のための適切な方法に応用している。 C:心肺蘇生法について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	実技	テスト ワークシート ノート	振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

３学期	安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 交通事故防止の取り組み 3 安全な社会の形成	a: 事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 B:安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 C:安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート 発表	 振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		4　応急手当の意義と救急医療体制 6　日常的な応急手当	A:適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 B:応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 C: 応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	テスト	テスト ワークシート ノート 発表	 振り返りシート ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度